

ENIGMA FirePlus

GROM/MSX125 (2016LEDヘッドライトモデル) 取り付け、接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA FirePlus (FBD330/FBD330RTFW)

対応車両 YAMAHA GROM/MSX125 (2016LED ヘッドライトモデル) (EBJ-JC61 1300001～, 2BJ-JC75)

※ 2015 以前の初期型GROMプロジェクターヘッドライトモデル)との接続につきましては、旧型GROM専用のマニュアルをご覧ください。

カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA FirePlus のカプラーと接続してください。

ENIGMA FirePlus 本体は過度な振動や雨水などがかからないよう、固定してください。(配線接続作業は一切ありません。)

ECU に繋がっているカプラーを外し、ENIGMA FirePlus から出ているカプラーを ECU と車体側に接続してください。

「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

作業が終わりましたら 使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

※FBD-330RTFW をお持ちの方で2017年マイナーチェンジ後 GROMに使用する場合、そのまま使用すると FI ランプにエラーが表示されます。

これはマイナーチェンジ後 GROM は ECU の配線接続箇所が変わっているため、旧型 GROM と共通カプラーオンにしてある RTFW モデルでは配線接続位置に問題が出るためです。ENIGMA 本体は共通なので使用の場合は、下記にある **別図-B** をよく見て ENIGMA から出ている 18 番(白/青線)を確実に配線し直してください。

当社製品 FBD-330RTF-B は、上記配線作業を行ったモデルです。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なGROM/MSX125の整備知識が必要です。

ノーマル車両には車両に乗った状態で左側、シートサイドカバーの内側に ECU が有ります。

まず、シートを外し、ガソリタンクサイドカバー (左側) を取り外します。

その後シートサイドカバーを取り外すと ECU が斜めにゴムマウントされています。

ECU に繋がっているカプラーを外し、配線を加工して Enigma FirePlus を割り込みさせて下さい。

Enigma FirePlus は近くに水に濡れないよう取り付けてください。配線加工後 ECU を取り付けてください。

バラ線タイプの ENIGMA FirePlus の場合、カプラー側の配線に ENIGMA FirePlus 配線を **割り込み接続します。**

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

Enigma FirePlus の動作に問題が起こります。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。

- 基本的に Enigma FirePlus から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。

Enigma FirePlus から接続する配線は全部で 12 本です。

ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。

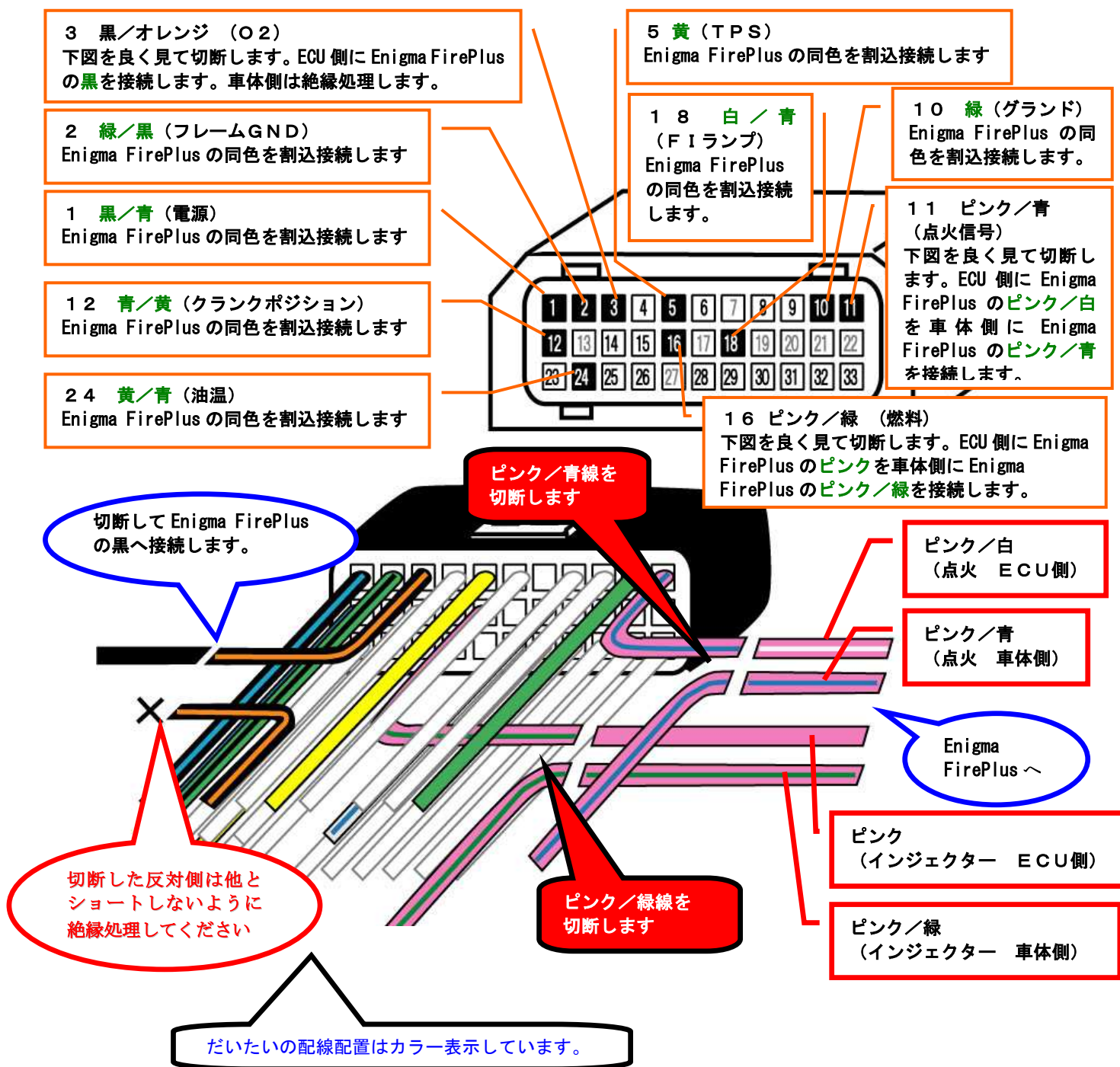
使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。

白線はピットレーンリミッタスイッチ用なので ECU には繋ぎません。

使用しないときは絶縁処理をしてください。

- ※ ボディアース（フレームGND）へ接続する緑／黒線は、バッテリーのマイナス側かバイクのフレームに直接配線するか、ECUの2番端子（緑／黒線）へ接続してください。ECUの9番、10番端子（緑線）には接続しないでください。
- ※ ECUの3番端子（黒／オレンジ）へ接続されている線（O2センサーからの信号）を切断して、Enigma FirePlusの黒線とECU側を接続してください。
切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。
- ※ 9番端子と10番端子はどちらも緑線です。ご注意ください
- ※ ECUの11番端子（ピンク／青）へ接続されている線（点火コイルへの信号）を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側にピンク／青線を接続、ECU側にピンク／白線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの16番端子（ピンク／緑）へ接続されている線（インジェクターへの信号）を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側にピンク／緑線を接続、ECU側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU端子で繋ぐのは1、2、3、5、10、11、12、16、18、24の10箇所です。上図で良くご確認ください。

■ Enigma FirePlus から出ている「白線」はピットインリミッター用の配線です！使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。使用方法はこのマニュアル最後にあるピットインリミッタースイッチの設置を参照ください。

■ ムラサキ線はサービス出力線です。Enigma FirePlus はクランク 1 回転に 1 回、5 V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで Enigma FirePlus 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC用ソフトは機種専用 ENIGMA FirePlus GROM/MSX125 用ソフトをお使いください。他のバイク用ソフトや FirePlus type-V 用ソフトはご利用になれません。
- iOS 用アプリ、Android アプリは **ENIGMA FirePlus 専用アプリ**をお使いください。
ENIGMA FirePlus 専用アプリは、アプリ内で GROM/MSX125 専用バイクモデルを購入することにより GROM/MSX125 用 ENIGMA FirePlus で使用することができます。
他のバイク専用のバイクモデルや FirePlus type-V 用のアプリは使用できません。
- FirePlus 専用ソフト(アプリ)には EASY モードと PRO モードの 2 種類あります。
PRO モードは点火マップがご自身で作成できないと、エンジンがかからなかったり、回転が上がらなかったり、最悪エンジンを壊してしまうことがあります。FirePlus が初めての方はノーマル ECU の点火時期を進角/遅角できる、EASY モードをお使いください。
- PC用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。
iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。
<http://www.dilts-japan.com>

ピットインリミッタースイッチの設置

Enigma FirePlus から出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。
ピットインリミッターは外部スイッチONの時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されているお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。

(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)

スイッチは「ON」で通電／OFFで遮断する一般的な仕組みの物です。

押している時だけONになる物は適しません。ご注意ください。

設置が終わったら Enigma FirePlus の白線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子がありますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違ってもプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

- **ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**